

# マイナンバー

## ◆こころ変わる

マイナンバーは医療の分野でも段階的に活用が進む見通しだ。2016年1月以降、自治体が管理する予防接種の記録や健康保険組合が扱うメタボ健診の情報に番号を書き込む。カルテや診療報酬明細書（レセプト）などの管理は18年度以降に活用することを検討している。

マイナンバーで予防接種やメタボ健診の情報をひも付けることで、引

### 医療でも段階的に活用

⑦

#### 医療へのマイナンバーの活用

2016年1月以降～

予防接種の記録やメタボ健診に付番

↓

・転居や転職しても記録を引き継ぎやすく

2018年度以降～(検討課題)

カルテやレセプトなどの管理に活用

↓

・効率的な医療計画の作成  
・医療情報のビッグデータ分析

越しや転職があっても、移転先の自治体や企業が情報を簡単に引き継げるようになる。個人でも継続して自分の医療情報を確認できるようになり、予防医療に生かせる。

政府内ではその先のステップとして、カルテなどの管理に活用する検討が進んでいる。医療機関や介護施設が患者の情報を共有できれば、無駄な検査・投薬を避けることができる。新たに医療番号を作り、マイナンバーと結びつける案が有力だ。漏洩リスクを抑え、番号を扱う医師の不安を和らげる狙いがある。

### カルテ管理 調整難しく

患者が望めば、自分の医療番号を医師や介護施設などがやりとりできるようにし、効率的な治療計画を作れるようになる。匿名の形で得た医療情報のビッグデータを分析できれば、効果的な治療法の開発にもつながる。

医療番号はマイナンバーのシステムを活用するため、カルテやレセプトは事実上マイナンバーと結びつく。日本医師会などは「医療情報を第三者が管理してはいけない」と反発しており、調整は難航する可能性もある。

# マイナンバー

## ◆こころ変わる

マイナンバーは番号を割り振る国や自治体に加えて、従業員らの番号を収集して活用する企業も新たなシステム投資が必要になる。民間の推計では関連するIT（情報技術）投資の市場規模は官民合わせて3兆円。大手企業では1社で5千万円以上の投資が必要とされ、IT各社は受注競争を繰り広げている。

国は番号を作って割り振るために、2014年3月までに2つの大型シ

### システム投資3兆円市場

⑧

#### IT各社は多様なマイナンバー関連の製品・サービスを用意する

種類	主な取扱企業
企業全般の総合支援サービス	NEC、富士通、日立製作所、NTTデータ
中小企業向けソフト	オービック、富士通マーケティング
金融機関向けサービス	野村総合研究所、日本IBM
会計事務所向けシステム	TKC
社会保険労務士向けサービス	エムケイシステム、バルクホールディングス

システムで一般競争入札を実施。NTTコミュニケーションズを代表とする国内大手5社連合が計約190億円で落札した。一方、民間の対応はこれから本格化する。企業は今年10月以降に従業員な運用に向けて、各段階

やその家族の個人番号と本人確認書類の収集を始める。そのうえで番号などを源泉徴収票などに記載するほか、外部に漏れないように保管し、期限がきたら廃棄する。円滑

### IT各社、争奪戦に

で専門のシステムを構築する必要が。規模の大小を問わず企業は負担を迫られることになり、その裏側でIT各社には、特需が生まれそう。既に様々な製品やサービスが登場している。NECはマイナンバーの総合支援サービスを始め、富士通やNTTデータなども同様の事業を展開する。中小企業向けでもオービックや富士通マーケティングなどがソフトの改修を進める。金融機関や会計事務所向けなどに商機を見いだす動きもあり、商戦は一段と活発になりそうだ。